

議 事 録

会 議 名	令和6年第4回常滑警察署協議会（定例会）																									
日 時 ・ 場 所	令和6年12月4日（水） 午後3時30分から午後4時55分までの間 ----- 常滑警察署 講堂																									
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">北川 徳彦</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">市田 千文</td> <td>副会長</td> </tr> <tr> <td>岡田 展利</td> <td>委員</td> <td>中村 翔太</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>杉浦 健朗</td> <td>委員</td> <td>竹内 稔晃</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>内田 剛資</td> <td>委員</td> <td>松下 幸子</td> <td>委員</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上8名（定数8名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">判治署長</td> <td style="width: 33%;">島崎副署長</td> <td style="width: 33%;">戸田警務課長</td> </tr> <tr> <td>奥村会計課長</td> <td>後藤生活安全課長</td> <td>廣岡地域課長</td> </tr> <tr> <td>加藤刑事課長</td> <td>江口交通課長</td> <td>角谷警備課長</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p style="text-align: center;">なし</p>	北川 徳彦	会長	市田 千文	副会長	岡田 展利	委員	中村 翔太	委員	杉浦 健朗	委員	竹内 稔晃	委員	内田 剛資	委員	松下 幸子	委員	判治署長	島崎副署長	戸田警務課長	奥村会計課長	後藤生活安全課長	廣岡地域課長	加藤刑事課長	江口交通課長	角谷警備課長
北川 徳彦	会長	市田 千文	副会長																							
岡田 展利	委員	中村 翔太	委員																							
杉浦 健朗	委員	竹内 稔晃	委員																							
内田 剛資	委員	松下 幸子	委員																							
判治署長	島崎副署長	戸田警務課長																								
奥村会計課長	後藤生活安全課長	廣岡地域課長																								
加藤刑事課長	江口交通課長	角谷警備課長																								
諮 問 事 項 等	駅駐輪場における自転車盗防止対策																									
答 申 等 の 概 要	<p>1 被害状況に鑑みた駐輪場対策</p> <p>2 あらゆる機会を通じた鍵かけ広報</p>																									
そ の 他	次回開催予定 令和7年2月頃																									

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（警務課長説明）
	(1) 諮問事項
	優秀な人材の確保方策
	(2) 答申事項
	ア 警察職員採用活動各種広報の実施
	イ 魅力ある職場環境の発信
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	(ア) 市内で開催された常滑焼まつりや防災フェスタなどのイベント会場において、警察ブースを設置し警察活動内容の説明や啓発グッズを配布した。
	(イ) インターンシップ生として市内高等学校及び小学校の生徒に対し、キャリア教育を実施した。
	イ 答申事項イについて
	(ア) 当署の男性職員の育児休業取得率は100パーセントを取得した。
	(イ) 各種ハラスメント防止対策として、声を上げられない被害者や周りの職員からも相談が受けられるように電話やメールなどの専用窓口が設置されている。
	(ウ) 身体の健康管理だけでなく、「健康いきいきレポート」と「ストレスチェック」を実施して心身ともに健康であるよう取り組んでいる。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
4 諮問	
(1) 諮問事項	
駅駐輪場における自転車盗防止対策	
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長説明）	
ア	令和5年中に常滑市内において、自転車盗被害が42件発生し、前年対比200パーセントと被害が倍増した。
イ	本年10月末現在の自転車盗被害発生件数は、34件（前年同期比2件減少）であり、非常に厳しい状況にある。
ウ	発生場所では、鉄道各駅の駐輪場が全体の7割以上を占めている。
エ	被害の特徴として、約8割が無施錠であり、無施錠の自転車が狙われているのは明らかである。
5 協議	
委員	・ 盗む人は若い人が多く、自転車はどこかに乗り捨てられている場合が多いと思う。
	・ 購入時は防犯登録をするが、長年乗っていると登録番号を忘れてしまう。
	・ 電車の時間に間に合わないため、鍵をかけ忘れてしまうので、余裕をもって家を出てしっかりと鍵をかける。
	・ 犯人は自転車盗に対する犯罪意識が低いと思う。
委員	・ 無施錠の自転車を自宅で二回盗まれて、二回とも発見されたことがある。
	・ 盗まれる側の現状は分かるが、盗む側の現状がわかりづらい。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
	なぜ盗むのだらうという「なぜなぜ分析」が必要である。
	・ 盗んだ後の現状を盗む側に知らしめる必要がある。
	・ 盗まれる時間帯に合わせた警戒と録音音声による注意喚起を行う等、盗む側に対する対策を強化する。
委員	・ 自転車盗は窃盗罪であることを高等学校などで教育し、気軽に手を出させないようにする。
委員	・ 施錠した折り畳み自転車を盗まれた経験がある。自転車ごと持ち去られない対策が必要であると思う。
	・ 盗む側に、この駐輪場では盗めないという意識付けが必要であると思う。
委員	・ 有料自転車置場はきれいに整頓されているので、乱雑に置かれた所よりも防犯効果は高いと思う。
	・ 監視カメラや照明設備が整っている場所や、警察官が巡回している所は被害が少ないと思う。
	・ 各種学校に赴いて、資料配布などを実施すれば効果的だと思う。
委員	・ 外国人用の対策を別に実施してもらいたい。
委員	・ 若い人が無責任に犯罪を犯してしまっているので、小学生などの若い世代から教育する必要があると思う。
委員	・ 盗まれない仕組みを構築する必要がある。
委員	・ 駐輪場の対策を強化すれば被害は減少すると思うが、予算的に難しいのではと思う。
	・ 放置自転車などの廃棄する自転車を駅で貸し出してみてもどうか。
	記録者
	警務係長

